

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
【発行日】平成 23 年 3 月 31 日 (2011.3.31)

【公開番号】特開 2009-200592 (P2009-200592A)  
【公開日】平成 21 年 9 月 3 日 (2009.9.3)  
【年通号数】公開・登録公報 2009-035  
【出願番号】特願 2008-37415 (P2008-37415)  
【国際特許分類】

H 0 4 W 8/24 (2009.01)

H 0 4 W 84/12 (2009.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 1 5 3

H 0 4 Q 7/00 6 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 2 月 16 日 (2011.2.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

通信装置であって、

アドホック無線通信のための通信パラメータの提供を受ける受信装置に、アドホック無線通信のための通信パラメータを提供する提供手段と、

アドホック無線通信のための通信パラメータを提供する提供装置が複数台存在するか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段により複数台の前記提供装置が存在すると判定した場合に、前記提供手段により既にアドホック無線通信のための通信パラメータを提供した受信装置へ、提供した通信パラメータの使用の中止を通知する通知手段と、

を有することを特徴とする通信装置。

【請求項 2】

前記通知手段は、前記提供手段により既にアドホック無線通信のための通信パラメータを提供した全ての受信装置に対して、前記提供した通信パラメータの使用中止を通知することを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 3】

前記通知手段は、前記提供手段により既にアドホック無線通信のための通信パラメータを提供した全ての受信装置から前記通知に対する応答を受信するまで、前記通知を所定回数繰り返すことを特徴とする請求項 2 に記載の通信装置。

【請求項 4】

前記判定手段は、アドホック無線通信のための通信パラメータの提供を受けようとしている受信装置からの通知により、前記提供装置が複数台存在するか否かを判定することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 の何れか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 5】

前記提供装置は、アドホック無線通信のための通信パラメータの提供を受けようとしている受信装置からの通知により、前記判定手段が前記提供装置が複数台存在すると判定した場合に、前記アドホック無線通信のための通信パラメータの提供処理を終了することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 の何れか 1 項に記載の通信装置。

## 【請求項 6】

前記判定手段により複数台の前記提供装置が存在すると判定した場合に、前記提供手段により既にアドホック無線通信のための通信パラメータを提供した受信装置の有無を判別する判別手段を有し、

前記提供手段は、既にアドホック無線通信のための通信パラメータを提供した受信装置がないと前記判別手段により判別されると、前記アドホック無線通信のための通信パラメータの提供処理を終了することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 の何れか 1 項に記載の通信装置。

## 【請求項 7】

通信装置であって、

アドホック無線通信のための通信パラメータを提供する提供装置から、前記アドホック無線通信のための通信パラメータの提供を受ける受信手段と、

前記受信手段により前記アドホック無線通信のための通信パラメータの提供を受けた後に、前記提供装置からの使用中止の通知を受けると、前記受信手段により受信した前記通信パラメータの使用を中止する中止手段と、

を有することを特徴とする通信装置。

## 【請求項 8】

前記中止手段は、前記受信手段により受信して記憶部に記憶した前記アドホック無線通信のための通信パラメータを前記記憶部から削除することにより、前記アドホック無線通信のための通信パラメータの使用を中止することを特徴とする請求項 7 に記載の通信装置。

## 【請求項 9】

前記中止手段は、前記受信手段により受信して記憶部に記憶した前記アドホック無線通信のための通信パラメータを、一時的に使用不能にすることにより、前記アドホック無線通信のための通信パラメータの使用を中止することを特徴とする請求項 7 に記載の通信装置。

## 【請求項 10】

前記中止手段は、前記一時的に使用不能にした前記アドホック無線通信のための通信パラメータを再度使用できるようにすることを特徴とする請求項 9 に記載の通信装置。

## 【請求項 11】

通信装置による通信方法であって、

アドホック無線通信のための通信パラメータの提供を受ける受信装置に、アドホック無線通信のための通信パラメータを提供する提供工程と、

アドホック無線通信のための通信パラメータを提供する提供装置が複数台存在するか否かを判定する判定工程と、

前記判定工程において複数台の前記提供装置が存在すると判定された場合に、前記提供工程において既にアドホック無線通信のための通信パラメータを提供した受信装置へ、提供した通信パラメータの使用の中止を通知する通知工程と、

を有することを特徴とする通信方法。

## 【請求項 12】

通信装置による通信方法であって、

アドホック無線通信のための通信パラメータを提供する提供装置から、前記アドホック無線通信のための通信パラメータの提供を受ける受信工程と、

前記受信工程において前記アドホック無線通信のための通信パラメータの提供を受けた後に、前記提供装置からの使用中止の通知に基づいて、前記受信工程において受信した前記アドホック無線通信のための通信パラメータの使用を中止する中止工程と、

を有することを特徴とする通信方法。

## 【請求項 13】

通信装置による通信方法をコンピュータにより実行させるためのプログラムであって、

アドホック無線通信のための通信パラメータの提供を受ける受信装置に、アドホック無線

線通信のための通信パラメータを提供する提供工程と、

アドホック無線通信のための通信パラメータを提供する提供装置が複数台存在するか否かを判定する判定工程と、

前記判定工程において複数台の前記提供装置が存在すると判定された場合に、前記提供工程において既にアドホック無線通信のための通信パラメータを提供した受信装置へ、提供した通信パラメータの使用の中止を通知する通知工程と、

をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 14】

通信装置による通信方法をコンピュータにより実行させるためのプログラムであって、

アドホック無線通信のための通信パラメータを提供する提供装置から、前記アドホック無線通信のための通信パラメータの提供を受ける受信工程と、

前記受信工程において前記アドホック無線通信のための通信パラメータの提供を受けた後に、前記提供装置からの使用中止の通知に基づいて、前記受信工程において受信した前記アドホック無線通信のための通信パラメータの使用を中止する中止工程と、

をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 15】

コンピュータにより読み取り可能であり、請求項 13 または請求項 14 に記載されるプログラムを記憶したことを特徴とする記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

本発明は、複数の提供装置がアドホック無線通信のための通信パラメータの設定処理を行う場合に発生する課題を解決することを目的とする。例えば、アドホック無線通信のための通信パラメータの自動設定を行うことにより、意図しない通信装置同士が誤接続してしまうことを予防することを目的とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

本発明は、アドホック無線通信のための通信パラメータを受信装置へ提供した後に、他の提供装置の存在を検知した場合に、既にアドホック無線通信のための通信パラメータを提供した受信装置に対して、通信パラメータの使用中止を通知する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

本発明によれば、意図しない機器同士がアドホック無線通信のための通信パラメータの自動設定を行うことによる誤接続を予防でき、アドホック無線通信のための通信パラメータの自動設定の安全性を向上できる。